

# さいたま 来ぶらり通信

Contents

わがまちSai発見..... 1, 2 本棚ぶらり 盆栽..... 3  
 第17回現代短歌新人賞 / 「ボランティア向け読み聞かせブックリスト」を発行します..... 4

わがまち

Sai 発見



## 世界盆栽大会

INさいたま



8回目となる世界盆栽大会が、平成29年4月27日（木）から30日（日）まで大宮盆栽村を有するさいたま市で開催されます。

これを機に盆栽を育ててみたい！世界盆栽大会をもっと楽しみたい！そんなときに役立つ本をご紹介します。

### 大会前に読んでみよう！






◀よくわかる盆栽 基礎から手入れまで  
 やまだ かおり 山田香織 / 著 ナツメ社 2016年

### 番外編

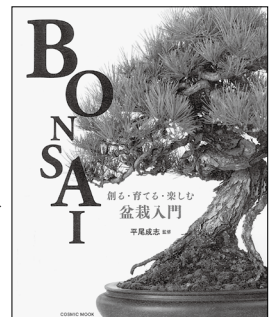
市報2017年1月号に「さいたま市に根づき発展した盆栽文化を世界に発信」と題した、清水市長と山田香織氏の新春対談が掲載されています。「市報さいたま」バックナンバーは各館でご覧いただけます。

さいたま観光大使も務める山田氏は、盆栽家としての心が伝わる著作が多数あります。

本書の中で盆栽を「鉢と植物が織りなす緑の芸術」と語り、特に大切にしていることとして、以下の3つの条件をあげています。

- 1 鉢と植物が美術的に調和がとれていること 
- 2 盆上に自然の景色が描かれていること 
- 3 鉢の中で自然の摂理が繰り返されていること 

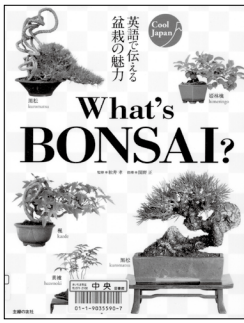
基礎知識をはじめ、土の管理から細かな剪定の仕方まで、写真や図を使用し、わかりやすく解説しています。



創る・育てる・楽しむ盆栽入門▶  
 ひらおまさし 平尾成志 / 監修 コスミック出版  
 2015年

日本文化の継承を志し、大宮区盆栽町にある「加藤蔓青園」に入門。その後世界へ活動の場を広げた平尾氏は、枠にとらわれないさまざまなデモンストレーションを行っています。

本書の後半には、平尾氏が手がけたイベントの様子を紹介。各国の人々を魅了した日本の芸術をご覧ください。



◀What's BONSAI?

英語で伝える盆栽の魅力  
まついたかし  
松井孝 / 監修 主婦の友社 2016年

盆栽は、平安時代<sup>とう</sup>唐から渡来した<sup>ほんけい</sup>盆景を、貴族が庭先で鑑賞したのが始まりとされています。

現在では、世界各国に愛好者も急増し、日本の「BONSAI」は世界から認められる文化芸術として知られています。

その魅力を英語と日本語の両方で伝える本書は、日本の歴史ある盆栽を更に世界へ発信する架け橋になるのではないかと思います。

第8回世界盆栽大会で国境を越えた出会いがあるかもしれません。

## わがまち さいたまと盆栽

江戸時代から明治・大正にかけて、現在の東京都文京区に多くの盆栽園が店を構えていました。

しかし、都市化が進むにつれ盆栽の育成に適した環境作りが困難となりました。

大正12年の関東大震災をきっかけとし、盆栽園の一部は、大正14年4月に資源が豊富な大宮公園北部へ移住しました。これが「大宮盆栽村」の始まりとなります。

断続的に移住は行われ、昭和3年には、組合役員20名の「盆栽村組合」を発足しました。その際、盆栽村に居住するためのとてもユニークな「住民協約」が作られました。

- 1、ここに居住する人は、盆栽を10鉢以上もつこと
- 2、門戸を解放し、いつでも、誰でも見られるようにしておくこと
- 3、他人を見下ろし、日陰を作るような二階家は作らないこと
- 4、ブロック塀は作らず、家の囲いはすべて生垣にすること

最盛期には30以上の盆栽園が軒を連ねた盆栽村。移住を開始した際は「大砂土村」という地名でしたが早い段階で盆栽村と通称され、昭和17年には「大宮盆栽町」が行政区画名として採用されました。

しかし、戦時中、盆栽は「ぜいたく品」とされ、大宮盆栽村は打撃を受けました。

戦後、盆栽村は復興に向け「盆栽村陳列会」を開催するなど、地道に普及活動をつづけました。その甲斐もあり国内外から政治家や著名人が来村するようになりました。

大宮盆栽村が中心となって実施してきた活動の成果として、平成元年、「盆栽の心で築く世界の平和」をスローガンに掲げ、第1回世界盆栽大会が大宮ソニックシティで開催されました。

その後、アメリカや韓国など海外での開催を経て、今年、28年ぶりに世界盆栽大会が日本へ帰ってきます。

## これまでの開催場所

1989年 / 第1回大会	▶ 日本・さいたま市 (旧大宮市)
1993年 / 第2回大会	▶ アメリカ・オーランド
1997年 / 第3回大会	▶ 韓国・ソウル
2001年 / 第4回大会	▶ ドイツ・ミュンヘン
2005年 / 第5回大会	▶ アメリカ・ワシントンD.C.
2009年 / 第6回大会	▶ プエルトリコ・サンファン
2013年 / 第7回大会	▶ 中国・ジンタン
そしてふたたび	
2017年 / 第8回大会	▶ 日本・さいたま市

参考：『(盆栽)の物語』

さいたま市大宮盆栽美術館

2014年

『大宮盆栽村クロニクル』

みやたかずや  
宮田一也 / 著 アーカイブス出版

2008年

